

○：寒冷地仕様の装備を教えて。

寒冷地仕様をメーカーオプションにて、ご用意しています。
 選択いただくと、以下の表のとおり、装備されます。

なお、北海道地区の場合は寒冷地仕様が全車標準装備となります。

< ○：あり -：なし >

装備	説明	寒冷地仕様	標準仕様	ハイブリッド車		ガソリン車	
				2WD/E-Four	S-G	2WD/4WD	S-G
冷却水 (LLC)	寒冷地では、エンジン内を循環している冷却水の濃度が低いと凍ってしまうことが考えられるので、冷却水が凍らないように濃度を上げております。 通常の濃度である、30%だと-15度ぐらいで凍結しますが、濃度を50%にすると凍結温度が下がり、約-35度ぐらいにならないと凍結しなくなります。	LLC 50%	LLC 30%	○	○	○	○
フロントアガラス	撥水機能とは、雨滴の付着を少なくしたり、結露・結氷および泥水の付着などの低減やこれらの除去を容易にする機能です。	UVカットガラス (撥水機能付)	UVカットガラス	- *1	○	- *1	○
ウィンドシールドデアイザー	雪だまりや凍結によりワイパーが動かなくなることの防止を目的にフロントガラスに熱線を配したものです。(下図1参照)	あり	なし	○	○	○	○
ウィンドシールドワイパー	ワイパーモーターが寒冷地用で強力になります。	寒冷地用 (モーター)	標準	○	○	○	○
ウエザーストリップ	凍結によりフロントドアやサイドドアが開けられなくなることの防止するため、専用部品を追加及び一部部品形状を変更しております。	あり	なし	○	○	○	○
フロントヒーター	エンジン始動直後からエンジンが暖まるまでの間、通常のヒーターに加え、暖房を補助装置 (電気式補助ヒーター) です。 エンジンの冷却水温が低いときの室内暖房に貢献します。即熱性があるため、短時間で暖房がききます。	PTCヒーター あり	PTCヒーター なし	○	○	○	○
内外気2層制御	内外気切り替えが外気導入の時、上層が外気導入、室内下層が内気循環となり、内気循環時と同じくらいの暖房性能を維持しながら、ガラスの曇りを防止します。	あり	なし	○	○	○	○
リヤヒーター	リヤヒーター機能がつかえます。(下図2参照)	リヤオートエアコン	リヤクーラー	- *2	○ *3	- *2	○ *3
カウルトップルーバー	カウルトップルーバー (フロントガラスとボンネットの間のパネル ワイパーの下に付いている樹脂の板) の真ん中寄りが格子状になっているが、その内側に寒冷地用で、樹脂製のメッシュのネット (金網) が付き、雪入りを防止します。外観上は、一見変わりません。(格子の中を覗き込めば見えます。)	寒冷地用	標準	○	○	○	○
フロントワイパークランク	雪などによりワイパーに無理な負荷がかかった際、部品が変形や破損をしないようにクランク (スプリング) で吸収しワイパーを保護します。	寒冷地用	標準	○	○	○	○

*1 スーパーUVカット (撥水機能付) が標準仕様です。寒冷地仕様を選択しても変更はありません。

*2 リヤオートエアコンが標準仕様です。寒冷地仕様を選択しても変更はありません。

*3 リヤオートエアコンは、寒冷地仕様を選択しない場合でも選択できます。

< 上記寒冷地仕様以外でセットで装着される装備 >

装備	説明
ウィンターブレード *4	降雪時、通常のワイパーブレードではフレームに雪が付着し、凍りついてワイパーとしての機能が低下します。 そこで、ブレード本体を特殊合成ゴムラバーで覆い、寒さによる固着を防ぎ、雪や雨を拭き取り、視界を保つようにします。

*4 ウィンターブレードは全車販売店装着オプションです。寒冷地仕様を選択しない場合も選択できます。

< 上記寒冷地仕様以外でおすすめの装備 >

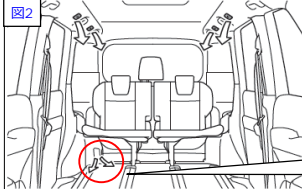
装備	説明
リヤフォグラブ *5	霧・雪・雨などにより視界が悪い時にクルマの存在を後続車に知らせるための赤色灯です。 リヤフォグラブは、リヤバンパー下部右側にのみ装着されます。(下図3参照)

*5 リヤフォグラブは全車販売店装着オプションです。寒冷地仕様を選択した場合のみ、販売店装着オプションで選択できます。

図1



図2



リヤオートエアコン装着車には、
 サードシート側面に吹き出し口が
 つきます。(運転席側のみ)

図3

